

- 修学旅行の受入から始まった民泊を農泊へ成長してオンリーワンの商品開発による顧客満足と住民の元気度NO1を目指した農泊エリアを目指す。
- 森林セラピーメニューのブラッシュアップ(雨の日プログラムの充実でキャンセル減)で売上UP。
- 他のエリアの好事例を素直に学び、吸収し、地域に眠っている宝を磨き上げる。(売り上げる)

## 広島県安芸太田町



【採 択 年 度】  
平成29年度  
【事業実施期間】  
平成29～30年度  
令和元年度

## 【実施体制】

(一社) 地域商社あきおた (事業実施主体管理母体 兼 事務局)

安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会  
(事業実施主体)

宿泊  
部門

- ・民泊登録家庭
- ・旅館・民宿
- ・ホテル

体験・交流  
部門

- ・里山ガイド (森林セラピー)
- ・民泊登録家庭 (田舎体験)
- ・町内体験事業者

## 【特徴的な取組】

- 一般顧客の農泊の取組み (商品化)
- 森林セラピーのメニュー開発(雨が降ってもできる)
- 冬の時期の森林セラピー商品開発



## 【取組内容】 (平成29年度時点)

### 【事例項目】

- 宿泊者数の実績 H29年53件 (一般の民泊モニター含む)
- 売上 (修学旅行民泊 売上⇒31,727千 1,735人)  
(森林セラピー 売上⇒ 1,062千 1,021人)
- 新たな体験プログラム数 ( 田舎体験 2件 ヘルス3件 )
- 農泊モニターツアー (4件実施 農家、お寺、アウトドア等)
- 森林セラピープログラムと連携したメニュー開発  
(宿泊型森林セラピー等広島大学との共同研究)  
滞在時間が長い方が森林セラピーの効果がより高くなる。  
⇒日帰りより滞在型の方がより良い効果が出る。
- 「知って」もらう機会の創出に係る取組内容及び実績  
⇒6月のひろしま山の日県民の集いでセラピー体験。  
⇒冬のシーズンに雪フェスとして

等

### インバウンド対応状況 (青: 対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約